

学習指導案 略案様式（特別の教科 道徳を除く）

5年1組		指導者	池邊 恒至	教科等	算数
単元	単元名等	分数と小数、整数			
	目標	評価規準	※どちらかを選択し、で囲ってください。		
	知識及び技能	知識・技能	○分数を用いた整数の除法の商の表し方を理解し、分数と小数、整数を相互に変換したり、少數と分数が混じった加法、減法の計算をしたりすることができるようになる。		
	思考力、判断力、表現力等	思考・判断・表現	◆分数の意味に着目し、整数の除法の商の表し方を考えたり、それを活用して、分数と小数、整数を相互に変換したり、少數と分数が混じった加法、減法の計算の仕方を考え、説明したりすることができるようになる。		
学びに向かう力、人間性等		主体的に学習に取り組む態度	○除法の商を分数で表すことができるよさに気づき、学習に生かそうとするようになる。		
単元の学習展開（全7時間）					
導入	<input type="checkbox"/> 小数で表せない商の存在に気づき、整数同士の除法の商の表し方に興味を持つ。				
展開	<input type="checkbox"/> 数学的活動を通して、整数の除法の結果は、分数を用いると常に一つの数として表せることを理解する。 <ul style="list-style-type: none"> ・整数の除法の商は分数で表せることを理解する。 ・分数を用いて何倍かを表すことができる。 ・小数や整数は分数で表せることを知り、分数や小数が混じった加法、減法ができる。 				
終末	<input type="checkbox"/> 単元を振り返り、新しく分かったことや、大切な考え方を確かめ、今後の学習に生かせることなどについてまとめる。				

本時 (6/全7時間)	ねらい	<p>分数と小数が混じった加法や減法の計算の仕方について <u>分数の意味に着目し、分数と小数、整数を相互に変換することによって</u> <u>計算の仕方を考えることができるようになる。</u></p> <p style="text-align: right;">【◆思考・判断・表現 ノートの記述】</p>			
	学習過程	<p>「めあて」と『課題』 「分数と小数が混じった計算のしかたを考えよう」 『どうしたら計算ができるだろうか』</p> <p>『まとめ』と「振り返り」 分数や小数が混じったたし算やひき算は、分数か小数にそろえて計算する。 分数を小数で正確に表せないときは、分数にそろえて計算する</p> <p>分数や小数が混じったたし算やひき算の計算の仕方がわかった。 分数や、小数にそろえると計算できることがわかった。</p>			
	努力に対する状況の児童生徒	<table border="1"> <tr> <td>【予想されるつまずき】</td> <td>【必要な支援・手立て】</td> </tr> <tr> <td>加法の和や減法の差が、小数では正確には表せない</td> <td>小数を分数になおして、分数で計算することで正確に表せることを確認させる</td> </tr> </table>	【予想されるつまずき】	【必要な支援・手立て】	加法の和や減法の差が、小数では正確には表せない
【予想されるつまずき】	【必要な支援・手立て】				
加法の和や減法の差が、小数では正確には表せない	小数を分数になおして、分数で計算することで正確に表せることを確認させる				